

## 質問回答

2016年3月7日

「チュニジア国ラダス・ラグレット橋維持管理能力強化支援【有償勘定技術支援】」

(公示日:2016年2月24日 / 公示番号:160012)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 【第2 業務の目的・内容に関する事項】 P4～5	ワークプランの内容についての質問です。 「7.成果品等」でP4に「業務計画書 和文5部」とあり、P5に「ワークプラン 仏10部」と記載され、また、P5の「ア.ワークプラン記載項目(案)」に「a～g」の項目案があります。「a～g」の項目は「業務計画書」に記載する項目と考えておりますが、「業務計画書」を仏語翻訳したものが「ワークプラン」という理解で良いでしょうか？	業務計画書はJICAの契約業務打合せの基礎となる資料であるのに対し、ワークプランはカウンターパートと協力業務について共通の認識を形成することを目的としています。このため、両資料の記載項目はほぼ同一のものです。それぞれの目的・用途を踏まえた内容及び表現で作成願います。
2	業務指示書 【第2 業務の目的・内容に関する事項】 P4	アクションプランの内容についての質問です。 「(1)本邦研修の実施」内の記載で、「アクションプランをカウンターパートが作成する・・・」とあります。 「アクションプラン」は、カウンターパートが自国に戻って運営する『維持管理マニュアル的』なものという理解で良いでしょうか？	本業務の本邦研修では、時間も限られていることから、カウンターパートが自国で維持管理を実施する上で参照するような「維持管理マニュアル」の作成を想定しておりません。本邦研修で学んだ技術等を、自国に戻った際にどのように橋梁の維持管理サイクルに反映していくかについて、カウンターパート自身が考えるきっかけを作るため、現行の維持管理計画の更新内容及びそのスケジュールを中心とするものを想定しています。
3		通訳について、 現地調査と本邦研修では、通訳を配置する計画ですが、6.0M/Mに含めないという考えで良いでしょうか？	現地調査と本邦研修で配置する通訳は、共に6.0M/Mに含めません。

以上